



坂野中学校の閉校にあたって

校長 桑田 郁 男

昭和 22 年 4 月徳島県那賀郡坂野中学校として創立され、69 年の歴史を刻んできた本校が、立江中学校と統合して、平成 28 年 4 月に新たに小松島南中学校としてスタートします。この節目に、坂野中学校への愛惜の思いを込め、また小松島南中学校の新たな発展を願い、閉校記念誌『久遠の光』が発刊されることとなりました。

坂野中学校では創立以来、保護者・地域・学校が一体となって坂中教育に情熱を注いで参りました。創立当初の坂野教場・和田島教場の廃止に伴う全校統合、その後の運動場の拡張、鉄筋校舎の竣工、体育館・市民プールの竣工等多くの節目を経て発展し、平成 9 年には創立 50 周年を迎えました。50 周年記念式典が開催され、記念誌の発刊、「坂中フレンドリーパーク」の新設等が行われました。そしてその後も市当局や教育委員会のご尽力を得ながらさらなる発展を重ね、現在に至っております。

坂野中学校卒業生は、今年度の最後の卒業生 90 名を加えると全部で 10,911 名となります。また、校長室には 18 人の校長先生の写真が並んでいます。そして 69 年間で本当にたくさんの教職員がこの坂野中学校で勤務してきました。

この 69 年の間、1 万人以上が学んできた坂野中学校の歴史は地域の歴史であり、たくさんの人の思いが込められています。地域で育てきた坂野中学校が閉校することとなり、地域にとっても、また卒業生にとっても本当に寂しいことだと思っております。この伝統ある坂野中学校の良き校風を新中学校でも受け継ぐとともに、坂野中学校の歴史をしっかりと残し、心に刻んでおきたいと思っております。

私個人としては、昭和 63 年度から平成 6 年度まで 7 年間、坂野中学校で勤務しました。そして平成 26 年度、約 20 年ぶりに戻ってきますと、生徒たちの中には、かつて私が在職中に生徒であった人たちの子どもがたくさんいました。20 年前の中学生が保護者になっていました。たくさんの元生徒と会うことができるとてもうれしく懐かしい気持ちでいっぱいになりました。

校長として在職した 2 年間は、坂野中学校の有終の美を飾るべく、これまで坂野中学校を築いてこられた先輩諸氏の思いを胸に、教職員とともに努力を重ねてきたつもりです。十分なことは何一つできませんでしたが、幸い平成 26 年度には野球部が県総体で優勝し、地元開催であった四国総体、全国総体に出場することができました。また、創造アイディアロボットコンテストでは県大会、中四国大会を勝ち抜き、全国大会でも優勝することができました。体育祭・文化祭などの大きな行事や総体などではクラスや学年、学校で団結して見事な成果をあげてきました。ここぞというときにはやるという気風はしっかりと引き継がれています。

この坂野中学校の歴史と伝統を礎に、小松島南中学校教育が大きく発展していくことを願っています。